

第1回奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時:令和2年1月29日(水) 9:00~9:45

場所:災害対策本部室

(本部長:荒井知事)

*県内居住者の感染事例について報告

- ・昨日、国立感染症研究所より奈良県在住の男性が新型コロナウイルスに感染されたという報告があった。
- ・武漢に滞在履歴のない国内初の事例である。
- ・現在の容態は安定と聞いている。
- ・感染者の家族も含め、他の感染事例は現時点では県内では確認をされていない。
- ・男性はバスの運転手。
- ・武漢市からのツアー客を乗せた長距離バスを、2回運転されていた。
- ・1回目は1月8日から11日の4日間、大阪から東京へ向かった。このときの奈良への立ち寄りなし。
- ・2回目は、1月12日から16日の5日間、成田から各地を巡って大阪へ向かった。その間、関西空港に乗られる直前で、奈良公園内に1時間滞在された。
- ・奈良への立ち寄りは、その日の1時間だけ。
- ・当該運転手は、奈良公園内で武漢からのお客さんを降ろされた後は、バスの中で待機されたとのこと。公園内で運転手は下車していないと聞いている。
- ・したがって、バス運転手が奈良県内で屋外を歩かれておらず、奈良県内で感染されたということは想像しにくい。車内で感染されたのではないかと、現時点では推察
- ・現在感染者は治療中。
- ・さらに感染が広がらないように奈良県としては万全を期したい。
- ・気をつけていただきたい点は他の感染症と同じだが、手洗い、うがい、拡散しないようにマスクをつける通常の風邪と同じような対策を講じていただきたい。奈良県ではそのような感染症の対策を徹底していきたい。
- ・新型コロナウイルスが収束するまで、この会議を続けたい。

(中西次長)

*以降の会議は非公開であることを説明し、報道機関に退席を依頼

*報道機関退席

(鶴田医療政策局長)

*配付資料に基づき、感染事例について説明

- ・新型コロナウイルス感染症の患者の発生について、ということですがけれども、1月25日に県内の医療機関から保健所に対して、中華人民共和国湖北省武漢市からのツアー客を乗せたバスを運転していた者が肺炎症状を呈していると報告があった。
- ・当該感染者の検体を国立感染症研究所へ検査したところ、昨日16時頃新型コロナウイルス陽性の結果が得られたため、厚生労働省と奈良県が、それぞれ昨日記者発表を行った。
- ・60代男性で、発症は1月14日。
- ・1月17日に医療機関を受診されているが、そのときは新型コロナを疑う症状が、疑似症の定義を満たしていなかったため経過観察となった。
- ・その後一度軽快したものの再度増悪し、1月25日先週土曜日に医療機関を受診し保健所に相談のうえレントゲンを取り、肺野に所見があったことから県内の感染症指定医療機関に入院している。
- ・当該患者は1月8日から11日、1月12日から16日武漢市からの観光客を乗せている。
- ・長時間バスの中で一緒になっていたことからバスの中で感染した可能性が高いと思っている。また、2回のうち1回目は県外を回っておられ、2回目は奈良公園内に1時間程度のみ滞在となっている。
- ・濃厚接触者につきましてはリストアップを実施しているが、同様の症状を発症している方はいない。
- ・昨日の厚労省の発表によりますと、国内外で患者は4200人以上、中国において死者は106人。

(杉中危機管理監)

*今後の対応について各部局へ依頼

- ・本日の会議は、昨日厚生労働省から感染者の陽性の結果の報告を受け、昨日の午後6時に知事を本部長とする「奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置した。知事からの発言のとおり、感染症が収束するまで継続的にこの会議を開催、

情報交換をしていきたい。

- ・新型コロナウイルスの感染症及び県民への呼びかけに関しましては県のホームページに最新情報を掲載しており、今後も更新していく。
- ・相談窓口は市町村を管轄する保健所のほか、県庁にも設置して電話により相談を受け付けることとしている。
- ・既に各部局には、県の施設や、関係機関を通じてチラシの配布等をお願いしているところ。今後も各部局で、特に県民の方への情報提供など、取り組むべきことを整理して、実施する際には事務局へもご報告をお願いする。

(村田副知事)

*全部局に指示

- ・全庁的な情報共有をしっかりとする必要がある。
- ・他の感染予防と同じ取り組みの徹底を、全庁で一丸となって全県民に呼びかけがあるのではないかと思う。
- ・庁内、職員への安全対策をお願いしたい。
- ・職員も場所によってはすでにマスクを着用することをお許しくださいと書いたりされているところもある。そういった対策など含め、しっかりとやっていただきたい。
- ・県民と職員、両方の観点からしっかりとお願いしたい。また、そういった対応を対外的にアピールしていただきたい。

(知事)

- ・県民に対する発信というのが大きな役割。それは感染予防を徹底しましょうという呼びかけだと思う。
- ・県庁玄関など、とりわけ徹底してもらいたいのはより、多くの人に接触・面談される人はとにかく手洗い、うがいを徹底してもらうのが一番である。
- ・具体的な言葉で呼びかけるように。
- ・いろんなケース(症状)がでて心配だという相談を受けられた際の情報収集を行うこと。
- ・どういう相談があったのか、一時相談が増えるのが普通なので、相談件数やどこにどんな相談があったのか、フォローして、相談件数を収集すること。
- ・県内の情報収集を、医療機関からいただくなど、収集のルートを想定して県が主体で、市町村や医療機関に呼びかけ、収集してほしい。

- ① 感染予防の徹底を呼びかける。
- ② 県内の情報収集に心がける。
- ③ 県外の、厚労省だけではなく、奈良に直接関係なくても事例を集めておいて、同じことが奈良で起こるかもしれないので、そういったことを想定して情報収集を行う。

その3つをお願いしたい。

・風評被害等にも配慮すること。